

ホクレン・ディスタンスチャレンジ 2026 士別大会

【出場結果】

実施日 : 7月18日(月)

会場 : 北海道士別市 士別市陸上競技場

出場者 : 救仁郷 弓揮 下田 大翔

出場種目・出場者・リザルト

氏名	救仁郷	下田
種目	5000mB組	
タイム	14'07"51 (シーズンベスト)	14'40"15
順位	8 / 17 位	16 / 17 位

【レポート】

今シーズンのホクレンディスタンスは、7月4日の千歳大会を皮切りに、網走、北見、深川、士別の全5大会が北海道各地で開催され、当社からは、シリーズ最終戦となる士別大会 5000mの部に入社2年目の救仁郷と下田が出場しました。

ホクレンディスタンスは、毎年7月に北海道で開催される長距離種目のシリーズ大会で、日本トップクラスの選手が好記録を目指して競い合う大会です。

近年は温暖化の影響により、涼しいイメージのある北海道でも日中は厳しい暑さとなる日が増えていますが、レース当日は雨模様で風もほとんどなく、この時期としては絶好のコンディションの中でレースが行われました。



絶好の気象コンディションの中、レースに臨む下田と救仁郷

5000mB 組に出場した救仁郷と下田でしたが、レース前にはペースメーカーが 3000m を 8 分 15 秒で通過するハイペースを刻むことがアナウンスされ、両選手とも序盤から積極的に先頭集団につき、レースを進めました。今シーズンここまで好調を維持していた下田でしたが、1000m 過ぎに集団から遅れ、以降は単独走を余儀なくされ、救仁郷は先頭集団のペースにしっかりと食らいつき、3000m 手前で先頭とはやや差が開いたものの、3000m を 8 分 17 秒台で通過し初の 13 分台突破へ期待が高まる走りを見せました。



その後も単独走となりながら粘り強く走り、4000m までは 13 分台を狙えるペースを維持。しかし、ラスト 1000m で徐々に身体が重くなりペースを落としたため、惜しくも初の 13 分台には届きませんでした。シーズンベストとなる 14 分 7 秒台でのゴールとなりました。下田は序盤から単独走となった影響もあり、最後まで本来のリズムをつかむことができずに、14 分 40 秒でゴールとなり、悔しさの残るレースとなりました。



13 分台は逃したものの好走を見せた救仁郷



前半シーズンのラストレースは悔しさの残った下田

【総 評】

絶好のコンディションの中、2 選手とも好記録を目指して序盤からハイペースに果敢に挑んだレースでしたが、結果として救仁郷は惜しくも初の 13 分台には届かなかったものの、シーズンベストを更新する走りを見せました。

一方、下田は序盤からレースの流れに乗ることができず、本来の力を発揮できないまま悔しさの残る結果となりました。

今回出場した 2 名は、チーム最大の目標である東日本実業団駅伝においてエース区間を担う重要な選手です。

今回の経験と課題を今後の糧とし、夏場の走り込みを通じてさらに力を高め、駅伝本番での活躍につなげてくれることを期待しています。

引き続き、皆さまの温かいご声援をよろしくお願いいたします。

以 上